#### 工学部だより

#### 留学生ガイダンスを実施

4月10日(水)、工学部本館3階第1会議室において外国人留学生を対象とした留学生ガイダンスを実施しました。当日は、留学生26名、教職員5名が出席し、学生課の担当者から在留資格全般、資



格外活動、奨学金等について説明を行いました。メモを取りながら真剣に説明を聞いている様子も窺えました。また、積極的に先輩たちとコミュニケーションをとるなど、新たにスタートした留学生活に期待も高まっているようでした。昨年度から留学生を中心とした「留学生会」サークルも新たに立ち上がり、今後の留学生の活動が益々楽しみです。

#### 桜開花に伴うキャンパス一般開放を実施

桜の開花に伴い、4月11日(木)から4月20日(土)の期間、キャンパスを一般開放いたしました。開放中は延べ6,500名を超える市民の方々にご来学いただきました。4月13日(土)・14日(日)にはお団子を配布するなど、教職員や学生たちとふれあう機会にもなり、盛況のうちに終了す



ることができました。たくさんの方々にご来学いただきましてありがとうございました。

#### バスケットボール日本代表主将 篠山竜青氏 来学

日本大学の卒業生で、バスケットボール男子日本代表の主将、プロバスケットボールBリーグ川崎ブレイブサンダースの篠山竜青氏が、5月16日(木)に開催した工学部教養講座の講師として来学し講演を行いました。講演では、『2019W杯、2020東京オリンピックへ』をテーマに、これまでの自身の体験を踏まえ、夢を実現させるためには、辛



いことがあっても慣れるまで頑張ってほしいと学生へ熱いエールを送っていただきました。篠山さんは、今年8月31日(土)より中国で開催されるバスケットボール・ワールドカップ2019に出場される予定です。篠山氏のご活躍を祈念しております。

#### 体育会壮行会を開催

5月15日(水)、工学部70号館中庭において、令和元年度東北地区大学体育大会壮行会を開催しました。工学部体育会所属の参加予定9団体中6団体及び親睦団体が参加。当日は、学生担当の池田正則教授、体育会実行委員会の山本咲渚委員長(機械工学科3年)から、大会での活躍を祈念したスピーチ等があり、学生たちも各大会を前に決意を新たにしていました。



#### 工学部特別講演会を開催

6月18日(火)、工学部ハットNE3階大講堂にて、『ブラックホールの撮影って何がすごいの?―研究成果の解説と国際して、田崎文得氏(大学共同利用機関法人自然科学研究機構国立天文台特任研究員、日本大別による特別による特別による特別による特別による特別による特別による特別によるを開催しました。田崎氏



は、世界中から集まった 200名以上の研究者で構成される国際プロジェクト『イベント・ホライズン・テレスコープ・プロジェクト』メンバーの一人でもあります。このプロジェクトは、今年の4月10日(水)、史上初めてブラックホールの撮影に成功しました。田崎氏には、研究の意義やプロジェクトの舞台裏についてお話いただきました。

#### 第8回工学部体育祭を開催



6月29日(土)、工学部グラウンドにて第8回工学部体育祭(フットサル競技)を開催しました。合計11チーム、89名が集結。いずれのチームも白熱した試合を繰り広げ、会場は終始大きな歓声と笑顔で溢れていました。 決勝は機械工学科2年を中心として結成された「チバJAPAN」と建築学科2年チーム「HEROs」が対戦し、1対0で「チバJAPAN」が優勝しました。

#### 各種奨学生及び特待生賞状授与式を開催

7月18日(木)、工学部本館3階第1会議室にて、令和元年度日本大学特 特生賞状・日本大学各種奨学生証書授与式を開催しました。授与式は、厳 粛な雰囲気の中で行われ、参加した学生は喜びとともに緊張した様子で 式に臨みました。

#### 【令和元年度 各種受賞者数 計51名】

∃本大字特待生(甲種)
日本大学特待生(乙種) ······ 20名
∃本大学古田奨学生 ······· 1名
∃本大学ロバート・F・ケネディ奨学生 ······· 1名
日本大学オリジナル設計奨学生2名
3 本大学工学部奨学生(1種)6名
3 本大学工学部奨学生(2種) ······1名
日本大学工学部五十嵐奨学生12名
日本大学大学院工学研究科特別奨学生 ··············4名

未来へ語り継ぎたいものがある

### 工学部広報

2019 No.256 令和元年7月25日

編集:日本大学工学部広報専門委員会 発行:日本大学工学部 TEL(024)956-8618 〒963-8642 福島県郡山市田村町徳定字中河原1 http://www.ce.nihon-u.ac.jp E-mail koho@ao.ce.nihon-u.ac.jp ご意見・ご要望がございましたら、お気軽にお寄せください。



この印刷物は 再生紙を使用しております。 No.256 2019.7.25 未来へ語り継ぎたいものがある



■ 海外特集

●世界へ飛び出そう! ------ P9

## 工学部広報



CONTENTS 新入生特集 ●新工学体系『ロハス工学』を学ぼう…………… ●新入生座談会『未来を創るロハスエンジニアになろう!』……P2-4 新入生集合写真 (2019.4.1 撮影) ■ 研究特集 ■ 就職特集 ●教員の活躍······P10 ●平成30年度就職実績 ·······P5 ●工学部の就職支援 ·······P6 ●シリーズ 新たなる挑戦 ······P11-12 学生の活躍 ······ P7-8 令和元年度 自主創造プロジェクト……P13

日本大学工学部後援会発足·····P14

工学部だより……P15

#### 新工学体系 『ロ//ス工学』を学ぼう

## OHAS Lifestyles of Health and Sustainability LINGINEERING

21世紀の学問のすすめ!

遊びの

健康で持続可能な生活と社会を 実現するための新工学体系

#### 土7

Civil Engineering

#### 建築

Architecture

#### 機械

Mechanical Engineering

#### 電気·電子

Electric and Electronics

#### 化学・バイオ

Chemistry and Biotechnology

#### 情報

Computer Science

#### 農林水産

Agriculture, Forestry and Fisheries

#### 健康

Health

#### 導入20年を節目に、さらに進化する『ロハス工学』

日本大学工学部に、米国を中心とする人々の一部の層に浸透し始めた「LOHAS (Lifestyles of Health and Sustainability:健康で持続可能な生活スタイル)」の考えを工学により実現することを目指し、「ロハスの工学」を導入したのは1999年。以来、ロハスの工学を究明するための研究施設を整備するとともに、「ロハスの家」を代表とする様々な研究プロジェクトを推進してまいりました。

東日本大震災以降、「ロハスの工学」とはロハスを実現するための工学であり、震災、原発災害と風評被害から、"ふくしま"の自立した復興を実現するために必要となる工学であると位置付け、研究・教育を行ってきました。加えて、東日本大震災を経験し、ロハスの工学が包含している社会的役割の重要性を再認識するに至り、2011年度から毎年、市民公開シンポジウムとして「ロハスの工学シンポジウム」を開催しています。

ロハスの工学は、「心身共に健康な 人」、家族が暮らす「エネルギー自立と 自然共生の家」、その集合体である「活 力のある地域社会」、これらを支える「安 全・安心なインフラ」、およびそのフィー ルドとしての「美しい自然・豊かな環境」 の実現とこれらの融合を目指し、「ハード、ソフト、システム技術」の確立と体系 化を図るものです。実はこれは、国が提唱する「ライフイノベーション」と「グリーンイノベーション」を包含するものでもあります。ロハスの工学は、工学部の土木工学科、建築学科、機械工学科、電気電子工学科、生命応用化学科、情報工学科、そして総合教育が協力し合い、産学官の連携により、それぞれの不得意分野を補いながら、Healthと Sustainabilityを推進する新しい学問体系と言えます。

ロハスの工学に関わる研究施設の整 備、研究プロジェクトの推進と社会へ の実装により、そのイメージは学内の 研究・教育に浸透し、本学を目指す高校 生や産業界にも定着してきました。そ こで、「ロハスの工学」を「ロハス工学 (LOHAS Engineering)」と呼称を改 めて、広くその概念を発信するため、書 籍『ロハス工学』を発刊するに至りまし た。「ロハス」をキーワードに、工学の関 連分野を縦糸と横糸で織りなしたこれ までにない新しい教科書であり、これ からの日本、ひいては海外において必 須の工学となり得るものです。日本全 国の大学の工学部を志願する高校生、 また入学した学生が、ロハス工学の本 質を理解し、学生生活を通してロハスの考えを身に付け、社会において実践できる能力を養うことを願い、ロハス工学の構築を目指す工学部の研究者を中心に執筆されました。社会構造や環境が大きく変化するなか、様々な事柄に直面するであろう我が国のできるだけ多くの人たちに、今後の課題解決の糸口となり得る「ロハス工学」の意味に気付き、自ら考え、自ら行動に移すきっかけとなるよう願っています。

日本大学工学部長 出村 克宣



#### ▲新入住特集 /

#### 新入生座談会



#### 『未来を創るロハスエンジニアになろう!』

工学部での4年間、どのように学んでいけばよいのか、

有意義な大学生活を送るためにはどうすればよいのか、まだ模索している新入生も多いのではないでしょうか。

そこで、各学科から6人の新入生諸君に集まってもらい、出村克宣工学部長とともに

『工学部でどのように学ぶか』を考える座談会を実施しました。

出村工学部長による『ロハス工学』のミニ講義もあり、

大変有意義な時間になりました。新入生のみならず、工学部の学生必見です。



復興活動に興味があり建築研究会に入部。土 木の専門知識を身につけて、それを活かせる 技術者になることが目標。



筋トレが趣味でフィットネス同好会に入部。 秋田県人会にも所属している。建築そのもの をどう使っていくかを学んで、将来に活かし ていきたいと考えている。



軟式野球部と天文研究会に入部。航空宇宙学 に興味があり工学部に入学。海外留学を視野 に入れ、課外英会話講座を受講し英語を勉強 中。大学院進学が目標。



ボクシング部に入部し体を鍛えるとともに、 課外英会話講座を受講。将来は日本に留まらず、世界でグローバルに活躍したいと考えている。



クラシックジャズが好きでモダンジャズ研究会に所属。楽器はピアノ。大学院で専門的な知識を身に付けたい。将来は環境や健康に役立つものをつくりたいと考えている。



情報工学科の女性の先輩が多かったGeneral Sports同好会に入部。目まぐるしく進化する情報工学の世界で、人間とAIの共生を考えたうえで何か新しいものを開発したい。

2

next page ▶▶ 新入生座談会 スタート!

#### 新入住特集 新入生座談会 🛖 🗧



#### 私たちが工学部で学びたい理由とは!?

出村工学部長(以下、工学部長):新入生の皆さん、工学部へようこそ! 入学して3か月が過ぎようとしていますが、工学部について、まだ知ら ないことがたくさんあると思います。特に「ロハス工学って何だろ う?」と思っている人も多いんじゃないでしょうか?この機会に、皆 さんにぜひ知ってもらいたいと思います。それではまず、皆さんがな ぜ工学部で学ぼうと思ったのか、その理由を聞かせてください。木村 君は土木工学科でしたね。

木村 晃章さん(以下、木村さん):はい。僕は高校の自由課題のテーマ を探していた時に、土木に関する本を読んだことがきっかけでした。 ビルなどの建造物を建てる建築に対して、橋やトンネルなどのスケー ルの大きな構造物を造る土木に魅力を感じたんです。それで、土木工 学科のある工学部に来ました。

**工学部長**:なるほど。それじゃ、建築学科を選んだ川村君はどうでしょう? 川村 拳斗さん(以下、川村さん):僕は『高校生ものづくりコンテスト 全国大会』の木材加工部門で優勝した経験があるんですが、その時に 木材とか材料の奥深さを知りました。資源の枯渇問題もあり、どう解 決したらいいのか、ロハス工学を活かして建築を学びたいと思って工 学部に入りました。

鈴木 知行さん(以下、鈴木さん):僕はもともと宇宙に興味があったの で、工学系の大学に進もうと考えていましたが、工学部を選んだのは 日本大学のネームバリューやネットワークに魅力を感じたからです。 石田 愛乃さん(以下、石田さん):私は郡山出身ということもあり、周 りの人から勧められたのが一番大きかったです。それから、小学4年か ら高校卒業までずっと吹奏楽部でトランペットを演奏していたので すが、どちらかというと、舞台音響の方に興味があり、工学部なら音響 工学に関する知識が学べると思って来ました。

伊藤 慶一郎さん(以下、伊藤さん):僕も地元なので、自宅から近かっ たという理由もありますが、生命応用化学科にある酵素学研究室と生 体材料工学研究室に興味を持ったのが一番の要因です。

本多 梨七さん(以下、本多さん):私は幼い頃からものづくりが好きで、 漠然と工学を学びたいと思っていました。小学生の時、ホームページ を作ってみて、情報系でものづくりをするのも楽しいなって思ったん です。それならAI(人工知能)とか、もっと深く突き詰めて勉強しよう と思って情報工学科に入りました。



**工学部長**: 皆さん、それぞれ思うところがあって、工学部に来たん ですね。実際に、大学に入ってみてどうですか。大学生活には慣れ ましたか。

本多さん: 高校までの学習と違い、自分で学びたい科目を選べるの は新鮮でした。それから、工学部はキャンパスが広くて、最初は迷 子になりました (笑)

工学部長: 工学部キャンパスは東京ドーム8個分の広さがありますか らね。工学部は1947年にここ郡山に移設されたんですが、その前は何 があったか知っていますか?

木村さん:確か、海軍の敷地だったんですよね。

**工学部長**:そう。海軍航空隊の施設があったんですよ。それを利用して 講義棟が造られたんです。正門から続く桜の並木も、その頃植樹され

たから、このキャンパスとともに70年もの間、花を咲かせていること になります。郡山市内の桜の名所の一つでもあり、桜並木は工学部 キャンパスの名物でもあります。伊藤君は地元だから、工学部のこと はよく知っていたんじゃないですか?

伊藤さん: そうですね。工学部のことは知っていましたが、やはり高校 との違いは感じます。自分の席が決まっていないことに戸惑いまし た。授業ごとに教室も移動するから、「次どこだっけ?」ってその都度 携帯で確認しています(笑)。

石田さん:私が感じたのは、高校まではまだ子どもに見られていたけ ど、大学生になればもう大人として扱われること。先生方との近いよ うで近くない距離感も新鮮です。

川村さん:僕は一人暮らしを始めたから、親からの干渉も制限もなく 自由で楽しい反面、自己責任、自己管理をしっかりしなくてはと思う ようになりました。

鈴木さん: 工学部は設備が充実しているし、教養講座や課外講座など もあって、やる気さえあれば何でもやりたいことができる環境が整っ ていると思います。先日も僕の興味のある宇宙に関する特別講演が あってとても面白かったです。

木村さん:僕もそれは感じました。岩城一郎教授の研究室を訪ねて、「構 造の勉強がしたいんです」と伝えたら、教授がいろいろ教えてくれまし た。自分が望めば先生方も親身になってくれる大学だと思います。

工学部長:木村君は普通高校の出身でしたね。1年のうちはまだ専門の 授業が少なくて、教養や自然科学科目が多いから、大学の勉強は高校 とあまり変わらないと感じるかもしれないけど、2年になると専門科 目が増えるから、授業を一回休むと理解できなくなってしまう。手を 抜かずしっかり授業に集中することが大事です。逆に工業高校出身の 人は、高校での教養科目の履修時間が少ないから、1年では苦労するか もしれない。そういう面でも、高校との学び方のギャップを感じると ころじゃないでしょうか。

#### ロハス工学って何だろう!?

工学部長:皆さんにお渡ししたこの『ロハス工学』という書籍は、大学 院の講義でも使用している教材です。ロハス工学の体系を説明したも ので、工学部の各専門分野の先生方が執筆しています。独創的な素晴 らしい研究に携わっている先生ばかりです。

鈴木さん:機械の基礎解析の授業を教えていただいている伊藤耕祐准 教授も執筆されているんですね。とても興味深い本ですが、ロハスと いうとどうしても建築学科のイメージが強いです。

工学部長: そうですか。では、ロハスって何だと思いますか? 鈴木さん:実際、ロハスについてはよくわかっていないんです。 木村さん:実は僕も…。

工学部長:それではまず、"工学とは何か"について説明しましよう。こ こからは特別講義ですね(笑)。工学とは科学の拡張という面と技術の 理論化という面を併せ持つ、科学と技術を結ぶ学問と言われていま す。自然界の原理を探求するのが科学であり、その原理を知るために 化学や物理を使って解き明かしていきます。原理がわかれば、それを 模倣して人工的につくる技術、作り方・手順を勉強するのが工学です。 工学で導きだした方法を使って実際にテレビや携帯電話といった製 品にするのが技術です。だから、工学は人間の生活の身近なところに 存在していると言えます。







では、「ロハス」とは何か。ロハス(LOHAS)」は、1990年後半にアメリ カの心理学者と社会学者が生み出した言葉で"Lifestyles Of Health And Sustainability"の頭文字をとったものです。健康で持続可能な 暮らし方を意味し、そういう生き方を意識する人たちに対してものを 売るために商業用語として生まれた言葉です。工学にロハスの視点を 取り入れると、いかに地球に負荷をかけないで、人の健康に役立つも のづくりができるかを考えることが必要になります。つまり、ロハス を支えることができるような工学的なアプローチを考える学問がロ ハス工学なのです。皆さんがそれぞれの専門分野で学修する際に、 人々にとって便利で楽しい生活になるようなものをつくるだけでな く、地球に負荷をかけないためにはどうすればいいかを念頭におい て、学ぶことが大事になってきます。

しかし、日本人のDNAの中にはそもそもロハス的な考え方、環境に配 慮するやさしい心が宿っていると私は思っています。300年ほど前の 日本の中心だった江戸のまちは、かなり整備されていて、疫病も少な く、江戸庶民の排泄物を周辺地域の農家で肥料とし、そこで生産され た野菜を再び江戸のまちで消費するなど、リサイクルが進んでいたそ うです。そのDNA情報をロハスという言葉に置き換えて、日本人の感 性を現代社会に活かす工学的手法を見出して、具現化することが『ロ ハス工学』と言えるでしょう。皆さんにも、これから4年間、こうした口 ハス的な哲学を持って工学をいかにものにするか、そんな姿勢で勉強 してほしいと思います。それが私からのメッセージでもあります。

どうですか。ロハスについて、少しは理解できましたか。

石田さん:はい。今まで漠然としたイメージしかなかったロハスのこ とが、お話を聞いてよくわかりました。

川村さん:僕もざっくりと環境にいいことなのかなって思っていまし たが、正直、今まであまりよくわかっていなかったんです。ロハスの哲 学的な考えを聞いて興味がわきました。

伊藤さん: 学部長先生のお話と僕が興味を持った研究がつながりまし た。薬をつくることも含め、これからは環境問題を考えながらつくって いかないと駄目なんだと思います。ロハス工学の考え方に共感します。 鈴木さん:ロハス工学は、これからの社会に求められるものだと思い るし、空気がクリーンだと健康にもいいですしね。

本多さん:ようやく"ロハスって何?"という疑問が晴れました。私も、 日本人が昔から持っているDNA、考え方に近いと感じました。情報工 学だと直接関わるのは難しいのかなと思いつつ、情報工学からどうア プローチしていけるのか探っていくという、また新たな課題ができま

**工学部長**: 今、工学研究所プロジェクトでドローンを使って橋梁点検 力も高めたいです。 をしようとする研究が進められています。ドローンをどうやって制御 しながら飛行させるか、そこには情報工学のプログラミングの技術が 必要です。直接的な支えにならなくても、いろいろな分野の技術が関ンジニアになることを期待しています。今日はありがとう。

わらなければ、ロハスを支える技術に はならない。だから、情報工学ででき ることもたくさんあると思いますよ。 木村さん:社会環境デザイン入門の授 業でも、ロハスについて聞いたことは ありましたが、学部長先生のお話を聞 いて、バランスが大事なんだと思いま した。いいものをたくさんつくるとい う極端な考え方をすると、CO2排出量 が増えて地球に負荷がかかる。ロハス は哲学的な要素が強いけど、技術者に は大事な知識なんじゃないかと思い ます。ロハスを勉強して、ロハスの技 術を今の時代に合うように取り入れ ていけば、きっとすごくいい社会にな ると思います。

工学部長:ロハスを実現するための工 学的アプローチも多様性を持つこと が大事です。例えば、新しい材料を 使って構造物を造り直すより、耐久性 をあげて長く使うことは環境に負荷 をかけない方法の一つ。しかし、逆も あります。古い家電製品をずっと使う より、最新の技術でつくった家電製品

を使う方が省エネになります。様々な角度からみて、どの方法が最も 有効的なのかを考える必要があるということです。ロハス工学も使い 方を間違えないようにしないといけないですね。



#### 技術者としての資質を磨くために

工学部長: それでは最後に、皆さんの大学での目標やどう学んでいき たいかを聞かせてください。

木村さん: 専門的な知識を身につけられるように、自分から積極的に 学んでいく姿勢を持ち続けたいです。

伊藤さん:僕は2年になって専門科目が増えてきたときに、ロハスのこ とを意識しながら勉強したいと思います。

石田さん:私の場合、やりたい分野は決まっていますが、どう学んでい けばいいのかまだ模索している状況です。でも、ロハス工学の話を聞 いて、地球に負荷をかけないためにどうすればいいかを考えながら、 いろいろなことを勉強したいと思います。

川村さん: ただ建築を勉強するだけでなく、大学生のうちに学んだこ ました。機械の性能も大事だけど、地球があるからこそ人間も暮らせとを発信していきたいです。建築のことをよく知らない人にも情報が 届けられるようにしたいですね。

> 本多さん:せっかく工学部に入ったので、情報工学でどうやってロハ スの技術の手助けができるかを考えながら、専門だけでなく、時間を 有効に使っているいるなことに挑戦したいと思います。

> 鈴木さん:大学院進学を目指して、知識を深めたいと考えています。グ ローバル社会に対応できるように、課外英会話講座を受講して、英語

> **工学部長**:工学の基礎はもちろん、幅広く学びながら専門性を身につ けて、技術者としての資質を磨いてください。皆さんが、未来を創るエ

#### 平成30年度就職実績

## 学部・大学院ともに、就職率 100% 達成

※就職希望者に対する就職率

工学部の平成30年度就職率は、学部及び大学院においてともに2年連続100%の就職率を達成し、全国平均の97.6%を2.4ポイントも上回る結果となりました。この数字は薬学部に並ぶ実績で、日本大学の各学部の中でもトップクラスです。

以下、平成30年度の各学科別の就職状況および公務員・教員採用状況を示すとともに、今後の就職活動について紹介します。

#### 日本全国から寄せられる約13.200社の求人

平成30年度の理工系求人は、リーマンショック後の2010年度の採用を底に大きく改善しており、東京オリンピックを控え、引き続き堅調ぶりが表れる結果となりました。この求人の中には、工学部のみを指定する企業からの求人も多く含まれていますので、自ずと内定獲得の可能性は高くなります。

また、全国的に定数減の公務員については、テキスト代のみの負担で受講できる公務員試験対策講座や公務員一斉模試(無料)を実施しており、順調に採用実績をあげています。

( )女子内数

	区分	学科·専攻	土木	建築	機械	電気	生命	情報	合計
平成30年度 学部・大学院 就職状況	兴切	就職者数	168(6)	160(24)	154(3)	164(9)	102(31)	171 (27)	919(100)
	学部	就職率	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%
	_L 2475	就職者数	1	9(1)	23(1)	8(1)	29(5)	22(1)	92(9)
	大学院	就職率	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%

平成30年度 主な就職決定先(大学院含む)					
土木	建築	機械	電気	生命	情報
土木 経済産業省 国土交通省関東地方整備局 厚生労働省福島労働局 福島県庁 郡山市役所 東日本旅客鉄道(株) (株)安藤・間 (株)安藤・間 (株)銀谷組 五洋建設(株) 第一建設工業(株) 鉄建建設(株) 戸田建設(株) 戸田建設(株) (株)ネクスコ・エンジニアリング東北 (株)浅沼組 (株)大本組	建築 積水ハウス(株) 大和ハウス工業(株) 鹿島建設(株) 清水建設(株) (株)長谷エコーポレーション (株)野谷組 鉄建建設(株) (株)熊谷組 鉄建建設(株) (株)間エハウスホールディングス (株)福田組 前田建設工業(株) 三井住友建設(株) 三井ホーム(株) (株)スペース	機械 トヨタ自動車(株) スズキ(株) (株) SUBARU 東日本旅客鉄道(株) NTN(株) 日東紡績(株) 日本電設工業(株) 富士ソフト(株) 不ニラテッす工業(株) 朝日工業(株) (株)ケーヒン 山九(株) 新日本空調(株) 福島キヤノン(株) (株)デンソー福島	電気 東北電力(株) 東京電力ホールディングス(株) 東日本旅客鉄道(株) (株)東芝 キヤノン(株) 本田技研工業(株) スズギ(株) アルプスアルパイン(株) アルパイン(株) TDK(株) 凸版印刷(株) (株)ユアテック (株)関電工 (株)きんでん クリナップ(株) (株)クレハ	生命 (株)ホギメディカル (株)朝日ラバー 昭和電工(株) 新興プランテック(株) 全薬工業(株) 東芝デバイス&ストレージ(株) 日本原燃(株) 藤倉コンポジット(株) ブライムアースEVエナジー(株) (株)アサカ理研 クリナップ(株) (株)江東微生物研究所 常磐開発(株) (株)ユニ・チャームプロダクツ 日精樹脂工業(株)	情報 富士通(株) アルバイン(株) NECフィールディング(株) キヤノン(株) 東芝デジタルソリューションズ(株) 凸版印刷(株) 東日本電信電話(株) (株)日立ソリューションズ 本田技研工業(株) ルネサスエレクトロニクス(株) (株)NSD エリクソン・ジャパン(株) (株)ジャステック (株)ジャストシステム 日本システム 日本システム 日本特機(株)
JR東日本コンサルタンツ(株) 仙建工業(株) (株)ユアテック 鹿島道路(株)	(株) INA新建築研究所 コクヨ(株) 東京電力ホールディングス(株) (国研)日本原子力研究開発機構	東芝キヤリア(株) (株)ナカニシ 日本工営(株) (株)ミツバ	日本電設工業(株) ニプロ(株) 日本電産(株) 富士ソフト(株)	福島キヤノン(株) (株)富士薬品 秋田県厚生農業(協組連) (独)国立病院機構	(株)日本デジタル研究所 (株)日立社会情報サービス (株)日立ソリューションズテクノロジー 富士ソフト(株)

平成30年度 公務員·教員 採用状況 (学部·大学院含む)		土木	建築	機械	電気	生命	情報	合計
	公務員	27(2)	4(1)	6	3	3	9(2)	52(5)
	教員	0	0	1	8	5(3)	2(1)	16(4)

#### 工学部の就職支援

#### 就職指導課に相談しよう

#### 卒業後の進路は2年生で決めよう。また就職関連の相談は就職指導課(54号館2階)へ!

主な進路の種類は企業、公務員、教員への就職と大学院進学です。進路が決められないときは、1人で悩まずに就職指導課のスタッフに相談してください。就職指導課には10,000社の企業のデータも有ります。

#### 「CSNavi」「NU就職ナビ」を利用した求人検索



CSNaviは、工学部が独自に開発し、工学部の学生のみが使用できる就職サイトです。企業や公務員・教員のほか、臨床工学技士、工学部校友会の求人情報も検索できます。



NU就職ナビは、日本大学全体の学生を対象とした総合就職情報サイトであり、企業情報16万件、求人情報1万数千件が集積されています。学生の皆さんには就職活動の開始時及び就職先決定時にこのサイトで入力していただきます。

#### 今後の就職支援行事

#### ◆ 就職ガイダンス・就職試験対策等スケジュール

月日	行事内容
9/13(金)	リケジョのための就職入門
9/13(金)	第1回就職ガイダンス
10/12(土)	第2回就職ガイダンス
10/12(土)	外国人留学生ガイダンス
10/19(土)	SPI模擬試験(U/テストセンター対策)
10月上旬	自分の将来設計と就活入門
11/9(土)	SPI模擬試験(P対策)
11/16(土)	第3回就職ガイダンス
11/30(土)	就職常識試験
11月~12月	業界別就職セミナー・就職活動体験発表会
12/2(月)~6(金)	エントリー試験

月日	行事内容
12/14(土)	第2回インターンシップガイダンス
12/21(土)	第4回就職ガイダンス
12/21(土)	第1回大学院就職ガイダンス
1/11(土)	第5回就職ガイダンス
1/11(土)	第2回大学院就職ガイダンス
1/28(火)	第1回実践模擬面接「集団面接」
1/29(水)	第2回実践模擬面接「個別面接」
1/31(金)	労働法セミナー
1/31(金)	第6回就職ガイダンス
3/3(火)	日本大学合同企業研究会・就職セミナー
3月上旬	工学部就職セミナー

#### 公務員試験対策講座等スケジュール

月日	行事内容
9/4(水) ~ 7(土)	夏期特別集中講義
9/12(木)	第2回公務員ガイダンス
9/14(土) ~ 12/14(土)	基礎コース 主に1・2年次生対象 公務員試験対策講座
9/14(土) ~ 12/14(土)	実践コース② 主に3年次生対象 公務員試験対策講座
10月上旬	第2回面接練習会
10/5(土)	第2回日本大学一斉公務員模擬試験 全学年対象

月日	行事内容
12/14(土)	第3回公務員ガイダンス
2/13(木)~27(木)	実践コース③ 主に3年次生対象 公務員試験対策講座
3/4(水)~7(土)	春期特別集中講座 3年次生対象
3月下旬予定	全国版公務員模擬試験 3年次生対象

#### 700社が集まる工学部就職セミナーを有効活用

工学部独自の就職セミナーは毎年、多数の企業が参加しています(平成31年3月開催の就職セミナーでは、約700社が参加)。学部独自では全国でも最大規模を誇るセミナーで、日本大学工学部の学生に対する企業の期待の大きさがわかります。内定につながる割合も高く、学内にいながら、多くの企業の人事担当者と面談できることは移動時間や費用がかからないため、就活への負担も大幅に減らせます。



## 学生の

## 活命躍

様々な分野で活躍する 学生たちを紹介します。

#### 2019年学生安全技術 デザインコンペティション 日本大会決勝で 最優秀賞受賞



修了証書

3月11日、国土交通省主催による「2019年学生 安全技術デザインコンペティション日本大会決 勝((公社)自動車技術会運営)」が行われ、機械工 学科バイオメカニクス研究室(右から大槻脩さん <機械工学専攻2年>、筒井克海さん<機械工学 専攻1年>、望月涼太さん<機械工学科4年>、阿 部浩也さん<機械工学専攻1年>、教員アドバイ ザ:西本哲也教授)が最優秀賞を受賞しました。バ イオメカニクス研究室は昨年も最優秀賞に輝い ており、アドバンテージを活かして臨みました。 提案したのは、「自動車乗員の腰椎・腹部傷害評価 を可能とする新型ダミーの開発」。前年提案した 腰椎・腹部傷害評価ダミーを改良し、実際の自動 車衝突実験に使用できる精度を目指しました。事 故分析に裏付けされた課題抽出のアプローチ、プ レゼンテーションの分かり易さと質疑応答の正 確さ、またデモモデルの完成度の高さが評価さ れ、バイオメカニクス研究室が見事最優秀賞に輝 きました。これにより、6月10日から13日までオ ランダのアイントホーフェンで開催された国際 大会に日本代表として出場しました。

機械工学専攻2年(当時機械工学専攻1年)の中嶋一雅さんは、平成30年6月から平成31年3月に行われた「第三期福島県医療関連産業高度人材育成プログラム高度研究開発者ビジネスコース(MBLコース)」に参加しました。これは、ふくしまを牽引するメディカルビジネスリーダー(MBL)の育成を図るために、これまで福島県が築き上げてきた医療機器産業の集積を活かし、学生や若手社会人の段階から、医療機器を題材としたプログラムを通して、起業家や開発責任者といったリーダーに必要な素質を身につけるプログラムです。様々な医療セミナーや医療現場の視察に加え、

SVJU(シリコンバレー・ジャパン・ユニバーシティ)への短期留学も

あり、医療と医療機器に関する基礎知識を学びながら、開発や事業化に必要な実務についても学びました。また、新しい医療機器の開発を目指し共同研究を進め、そのビジネスプランを「メディカルクリエーションふくしま2018」のランチョンセミナーで発表。聴講頂いた方々の投票により、「Medical Business Learning大賞」にも選ばれるなど、大変充実した研修を経験しました。

# 参加高度人材育成プログラムに福島県医療関連産業



「ファースト部門」特選一アサヒカメラ

学術文化サークル連合会写真部に所属する渡邊郁彦さん (機械工学科4年)が、雑誌「アサヒカメラ」の月例コンテストの中の「ファーストステップ部門」において、4月号の作品「小さなカメラマン」、5月号の作品「見送り」、7月号の作品「ポージング」で特選を受賞しました。「アサヒカメラ」は90年以上の歴史を持つ、カメラ・写真に関する専門雑誌です。渡邊さんはこれまでも「ファーストステップ部門」において連続で予選通過しており、5回入選しています。この他写真部では、福島県芸術祭参加行事「第47回福島県写真クラブ合同例会(福島県写真連盟主催)」において、戸田幸平さん(機械工学科4年)の作品「耽美」が入賞に、「第7回大好きなふくしまのまち写真コンテスト((公社)福島県区画整理協会主催)」において、小野口満さん(機械工学科3年)の作品「壁画シンクロ」がプリント部門学生賞に選ばれるなど、幅広い活躍を見せています。

#### 全日本理工科学生柔道優勝大会

#### 第60回記念全日本理工科学生 柔道優勝大会準優勝

6月23日、講道館(東京)で行われた第60回記念全日本理工科学 生柔道優勝大会で、体育会柔道部が団体戦で準優勝を果たしまし た。本大会は、国公私立大学や短期大学の理工科系学部に所属する 学生が参加する全国大会で、昨年は3位入賞の成績でした。今年は 優勝を目指していた柔道部でしたが、当日、メンバーの一人が体調

第60回記念全日本理工科学生柔道優勝大会2019. 6. 23

を崩し出られず、また、準々決勝では一人が怪我を負い、苦しい状況での試合展開となりました。それでも準決勝はなんとか勝ち上がり、昨年2回戦で負けた前年優勝校との対戦となった決勝。リベンジしたいところでしたが、力尽き0対4で優勝を掴むことはできませんでした。しかし、不利な状態から勝ち上がり、昨年よりも順位を上げたことは大健闘と言えます。また、初めて個人戦に出場した吉尾新さん(生命応用化学科3年)が、無段の部で3位になりました。多くの収穫があり、部員たちも来年こそは優勝という思いを強くしていました。

#### **↓よさこい祭りで演舞が評価され入賞を果たす**



学術文化サークル連合会桜家一門YOSAKORI隊が、3月9日・10日に静岡県で行われた「第19回浜松がんこ祭(浜松がんこ祭実行委員会主催)」の学生U-40部門において、2位の成績を収めました。このイベントは全国から集まった出演チーム約115組が、浜松市中心部に設けられた様々な会場で、"がんこ"な踊りを披露するもので、桜家一門YOSAKORI隊にとっては平成30年度の演舞「進火(しんか)」の曲収めとなる区切りのイベントでの受賞となりました。更に、5月18日・19日に茨城県で行われた「常陸国YOSAKOI祭り」では、チーム対抗南中バトルで優勝、YOSAKOI甲子園(第15回YOSAKOI学生大会)で2位になるなど大活躍しました。この大会では、令和元年度の新しい演舞「繋(つなぎ)」を初披露。1年間の活動のうち重点を置いている初披露と曲収めの両方で受賞できたことは、今後の活動への大きな励みとなりました。

## 世界へ飛び出そう!〉〉海外特集



グローバル化が進む現代社会において、ますます異文化に対する理解や外国語でのコミュニケーショ ン力が求められています。ヨーロッパ研修旅行に参加した学生の体験談をもとに、世界を知ることの大 切さやその魅力をお伝えします。

#### コキラ•ミョーロッパ研修旅行 \*ラ•ミュロ

ヨーロッパの歴史や文化に触れることで、国際感覚 を養い異文化理解を深めるための研修で、毎年2月下旬 から2週間の日程で実施しています。今年は学生39名、 教職員3名の計42名が参加。2月16日(土)に日本を出 発し、フランスに4日、イタリアに4日、スイスに3日、ド イツに3日滞在し、充実した14日間を過ごしました。



2019年度ヨーロッパ研修旅行(2020年2月~)募集期間/10月中旬~11月初旬 【お問い合わせ】学生課

ヨーロッパの文化や建築、

#### 宗教や国民性に触れる貴重な経験

かねてよりヨーロッパに行ってみたいと思い つつ、なかなか一人で行く勇気はありませんでし たが、サポートがしっかりしているこの研修なら 安心だと思い参加しました。ヨーロッパの文化や 建築、宗教に興味があったので、その国民性に触 れることができたのは貴重な経験であり、大いに 刺激を受けました。中でも感動したのは宗教建築 です。実物は想像していたものより荘厳で、人間 が造ったとは思えない神々しさを醸し出してい ました。フランスやイタリアは建築や街並みも芸 術的にこだわっているのが感じられ、それが生活 の一部になっていて素晴らしいと思いました。ま た、英語圏ではない国でも普通に英語で会話して

行ってみたいと思い





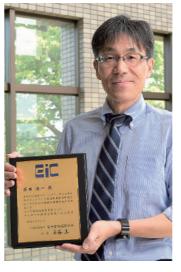
#### 様々な国の建築物とそこに住む人々の生活を知りたい

私が工学部に入学したのは、高校生の時にオープンキャンパスに来て、 ヨーロッパ研修旅行の説明を聞いたことがきっかけでした。常々、いろいろ な国に行ってみたいと思っていたので、ヨーロッパを歴訪できるこの研修 に大変魅力を感じました。建築物にも興味はありますが、どういう人がそこ で生活していたのかを知りたくなります。世界遺産にもなっているフラン スのモン・サン=ミシェルを遠くから眺めながら、誰がどんなふうに使って いたのか、その歴史を調べたいと思いました。地震や雨の多い日本と雨の少 ないヨーロッパでは建築物の建て方も違います。建物だけでなく、人間性も 国によって違いがあることを肌で感じました。今回はスペインには行かな かったので、サグラダ・ファミリアを見られなかったのは残念でしたが、ま だまだ行きたい国がたくさんあります。アメリカ近代建築の巨匠ミース・ ファン・デル・ローエが設計した建築物も見てみたいと思っています。

## 研究特集

## 教員の活躍

学術研究、地域貢献など、様々な分野で活躍する教員の研究活動を紹介します。 詳しくは工学部ホームページをご覧ください。



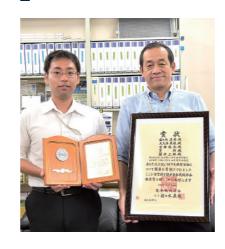
## 口

情報工学科の源田浩一教授は、学問・ 技術面における先駆的な業績による学 会への貢献等が評価され、一般社団法 人電子情報通信学会より平成30年度 フェロー称号く通信ソサイエティ>を 贈呈されました。源田教授は、効果的 効率的に途切れることなく情報を運ぶ ための適切なネットワーク資源の配備 や柔軟かつ持続的なトラヒックルート の制御を課題に、時代のニーズにあわ せて、IoTやAI・機械学習などの最先端 の技術を取り入れたネットワーク制御 方法やネットワークアーキテクチャの 研究を進めています。特に、「高速パ

ケットスイッチシステム及びネット ワーク最適化技術の研究」が高く評価 されての受賞となりました。



#### ■日本機械学会2018年度日本機械学会教育賞受賞



機械工学科の佐々木直栄教授(写真右) く評価されました。また、第5回以降は工学 並びに田中三郎専任講師(写真左)が、一般 度日本機械学会教育賞を受賞しました。今 大いに尽力しています。 年12回を迎える「新☆エネルギーコンテ スト」による持続可能なエネルギー利用に 関する工学教育の推進が評価されたもの です。大学・高専の枠組みを取り払って、高 校生以下の低年齢層まで門戸を広げる討 みを続けるとともに、実演・発表で用いる ポスターを冊子にまとめた概要集も毎回 発行するなど、教育的見地からの貢献が高

部を会場として定置開催で行われており、 社団法人日本機械学会2018(平成30)年 佐々木教授と田中専任講師は運営面でも



#### ■ 平成30年度土木学会東北支部技術開発賞受賞

平成30年度土木学会東北支部技術研究発表会(平 成31年3月2日)において、土木工学科の中野和典教 授と佐々木美穂さん(平成30年度土木工学科卒業)が 発表した「花壇型人工湿地の4年間の水質浄化性能の 評価」が技術開発賞に選出され、令和元年5月17日に 開催された土木学会東北支部総会において表彰され ました。工学部キャンパスに設置したロハスの花壇 に関する4年間の水質浄化性能を検証し、その浄化特 性と浄化性能を左右する要因を明らかにしました。 排水が緑化の液肥として直接的に活用される本手法 は循環型社会の実現にも貢献するシステムであり、 その実用性と将来性が高く評価されました。







## 研究特集

Episode 13

#### 再生可能資源である糖質の無限の可能性を探る

#### 機械学習とオントロジーを駆使した新しい情報サービスを開発する

大山 勝徳 准教授

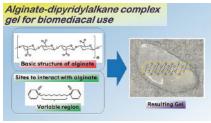


#### 生命現象の解明から 医用工学技術への発展に貢献する

砂糖や澱粉に代表されるように食品のイメージが強い糖 質。実は他の形態でも身近に存在します。例を挙げると、衣類 に使用される綿や麻なども糖質の一種であり、関節などに含 まれているヒアルロン酸も糖質の仲間です。このように糖質 は食品のみならず、繊維・高分子材料や医薬品などにも使用さ れる重要な化合物群なのです。生命応用化学科糖質生命化学 研究室の小林厚志准教授は、この糖質の特性を活用した化学 的な研究を行うことにより、様々な産業に貢献できる基盤技 術の開発を目指しています。

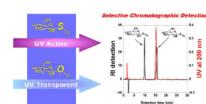
#### 糖質の弾力性を活かした 澱粉ゲルの作製と その評価法の確立を目指す

糖は単純な分子構造をしていますが、機能は多 彩で複雑な現象をつくりだすことから、様々な用 途に利用できる可能性を秘めています。しかし、そ の特性には謎が多く、機能制御の難しさも足かせ となり、活用しきれてはいません。まずは、糖質の 化学的特性を知ることが重要だと言えます。小林 准教授は、糖質をゲル化した時の弾力性とその挙 動に着目しました。炊き立ては粘り気がある米も、 時間が経つと水分が蒸発し硬くなります。水分を 保有したゲル状を維持できれば、もっちりとした 食感の御飯がいつでも食べられます。このように、 糖質の乾燥耐性を強化することで、糖質のクッ ション性を活かした材料、例えばシューズのソール などの開発につながることが期待できます。現在、 澱粉のゲル化に効果的な添加物であるBorax(ホ ウ砂)を混ぜ合わせて、ラマン分光法による澱粉構 造の微細な変化の解析が進んでいます。まさに、糖 質の"謎"が解き明かされようとしているのです。





#### 国際誌でも評価された通説を 覆す画期的な発見



チオグリコシドの分光学特性を利用する糖脂質の分離検出

生体内に含まれる物質は加齢とともに物理的ま たは化学的に変化します。これらの変化を検出し 定量することができれば、生体の老化状態を知る 方法につながると考えられています。そこで、糖質 をモデルケースとする新しい診断法の開発に挑戦 している小林准教授。牛理活性を示す糖脂質を効 率よく利用するために、チオグリコシド(硫黄)との 合成を試みました。その実験を進める中で、ある発 見がありました。それまで、UV(紫外線)を吸収し ないと考えられていたチオグリコシドにUV吸収 が見られたのです。チオグリコシドのUV吸収を利 用した高性能液体クロマトグラフィー(HPLC)の 実験でも、複数のチオグリコシドを容易に分離検 出することに成功。これまでの通説を覆し、チオグ リコシドのUV吸収を証明し、その特性を活かして 化合物の分離に利用できることを示しました。こ れらの成果をまとめた論文が有機化学分野の代表 的な国際誌『Tetrahedron Letters』に掲載され

るとともに、研究内容を表すGraphic Abstract が掲載号のCover Pictureに選ばれるといった高 い評価を受けました。

#### 化学をベースに生物に アプローチする独自の手法

消化や呼吸など生命活動に関わり、生体内の化 学反応の仲介役となる酵素。この機能を応用する 研究が、医療・農業・工業など幅広い分野で進めら れています。小林准教授も医薬品や化粧品への応 用を目標に、酵素触媒反応を使った有用な物質の 開発や新規酵素を探索するための酵素活性測定法 の研究に取り組んでいます。注目したのは、メラニ ン生成を抑え美白効果もある配糖体のアルブチ ン。合成が簡単で水溶性が高く、酵素によって化学 反応を触媒される人工基質であることがメリット です。この基質に酵素反応が上手くできるような 有機化学的なデザインを施し、反応効率を高めな がら、酵素性能を評価するアッセイ系(分析・評価) の構築を目指しています。もともとは生物に興味 があったと言う小林准教授。学生時代に糖の有機 化学合成の研究に携わり、生物を知る手段として の化学の重要性を知り、化学をベースに生物にア プローチする手法に辿り着きました。今は糖の無 限の可能性を信じ、それを探ることに使命感を感 じながら、生命現象の解明から医用工学技術への 発展に貢献しています。



#### デジタルヘルスと 環境モニタリングの研究

「第三次人工知能(AI)ブーム」の立役者とも言われている深層 学習(ディープニューラルネットワーク)は強力な機械学習であ る一方、学習結果や判断根拠を利用者が理解して正しく運用す ることは容易ではありません。情報工学科情報サービスシステ ム研究室の大山勝徳准教授は、人の周囲から得られるセンサ データの機械学習だけでなく、コンピュータのデータから人の 知識へ橋渡しをするオントロジー(機械学習に使える知識集)を 駆使して新しい情報サービスの開発に挑戦しています。

#### 人の知識や知恵を伝えたい― その原点はETロボコン



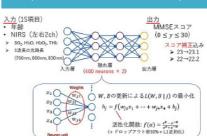
大山准教授の研究の原点と 言えば、工学部学生時代に参 加した組み込みソフトウェア 技術を競う「ETロボコン」。 ETロボット開発時に試行錯 誤した経験から、人の知識や 知恵を上手く伝えるための ツールが必要だと考え、ソフ トウェア開発者の設計思考過 程モデルの研究に取り組みま した。客員研究員として米国

アイオワ州立大学でも研究を重ね、大山准教授は ソフトウェア利用中のユーザの状況変化を抽出 し、解析とアップデートに役立てるSituフレーム ワークを提案したのです。次に着目したのは、遠隔 共同作業やペアプログラミング時に起きる対話中 の意思疎通の失敗でした。遠隔環境の被験者に暗 算課題を音声で伝える実験を行い、脳波と近赤外 線分光法(NIRS)による脳血流の同時計測(写真は 実験中の様子)から得られる特徴量により脳活動 を解析。その結果、意思疎通の活性化から停滞へ変 化する時点で脳波変動差が極端に大きくなること を発見しました。これまでにない効率の意思疎通 の実現につながる研究であり、次世代コミュニ ケーションツールの開発も期待できます。大山准 教授はこうしたユニークな着眼点を切り口に、独 創的な研究を進めているのです。

#### 脳と心に関するヘルスケア モニタリング技術から 予防医学システムへ

2007年以降、65歳以上の人口が全体の21%を 超える「超高齢社会」に突入した日本では、認知症 高齢者の増加が問題となっています。今後は認知 症の早期発見、早期予防が重要だと考えられてい ます。現在、認知症のスクリーニング検査として世 界で最も使用されているMMSEテスト(Mini Mental State Examination)は、精神状態を体系 的に評価できる点で有用である一方、時間を要す ることや軽度認知症(MCI)と異常のない被験者と の識別が難しいことなどが課題となっています。 大山准教授は、脳波や脳血流の脳機能データを基 に、ディープニューラルネットワーク(DNN)を構 築し、高齢者の認知機能障害を早期に発見するシ ステムの実現を目指しています。

#### ディープニューラルネットワーク



測定プローブを用いて脳波と脳血流の時系列変 化を分析し、MMSEスコアに基づく認知機能リスク を1分程度の計測結果から簡易評価する方法を考え ました。ビッグデータ化する生体情報から、脳と心 に関するヘルスケアモニタリング技術を研究し、予 防医学システムへと発展させることが狙いです。



#### 誰もが使える、人にやさしい 情報サービスを目指して

2011年3月、東日本大震災によって福島県は被 災しました。その時、大山准教授は地域のために役 に立ちたいという思いから、最初はボランティア としてUAV(無人航空機:ドローン)による放射線 量測定の効率化を検討したのです。当時まだ注目 されていなかったUAVをいち早く取り入れた大山 准教授。現在、複数の地図を重ね合わせて、上空か らも直接見えない人の周囲の地理情報を可視化す る方法を提案しています。センサデータの機械学 習とマップ統合の組み合わせは、他には類を見な いオリジナルの研究です。さらに、局所探索を適用 して観測データから直接ウェイポイントルートト の最短経路を求めることにより、センシングの効 率化と広範囲化を図るUAV経路計画法を考案しま した。研究の重要なポイントは、「人間にしか解釈 できなかったSituation(状況)をコンピュータで どう捉えて設計するのか」という大山准教授。Web サービスを利用するユーザーの状況を捉えなが ら、機械学習とオントロジーの技術を駆使し、今ま でより誰でも使えて、人にやさしい情報サービス の提案を目指しています。







### 令和元年度 自主創造 プロジェクト イナイナイ

#### 『日大生のやってみたいを実現するプロジェクト』に2件採用

日本大学では、日本大学教育憲章「自主創造」の3つの構成要素「自ら学ぶ、自ら考える、自ら道をひらく」能力を実践の場を通じて高めるとともに、学部間交流を通じて多様性に対する気付きを与え、自ら専門科目の学修をより深化させるための一助とすることを目的として、学生発案型の取組を支援しています。本年度の『日大生のやってみたいを実現するプロジェクト』に工学部から以下の2件が採用となりました。

#### **"Konnect-Call**

■ 代表者:山本 咲渚さん(機械工学科3年)

福島県郡山市と高知県をつなぐ架け橋として、双方の食文化を伝える活動を計画しています。この計画により郡山(Koriyama)と高知(Kochi)が千キロの距離を越え、身近に感じてもらうことを目標としています。都市部に比べ、人口は勿論、流行情報も劣っているように感じる高知県は大学生になって初めて住むようになった福島県郡山市と似ています。この2つの都市をつなぐことで都市部では感じることのできない「田舎」を感じ、田舎ならではの食文化や、温かさを学生の視点で発信することで地域を活性化していきたいです。



- 福島県で開催されるフリーマーケットで高知県の地場産品を販売し、 収益を得る。
- SNSを使ってクラウドファンディングを行い、学園祭までに収益を得る。
- 学園祭では、高知の特産品の鰹を企業と共同で販売したい。
- 高知県で郡山市のソウルフード「クリームボックス」を販売し、 収益を得る。
- 高知県の民泊に泊まり、高知の方言や文化を実体験する。



#### 『ミニかまくらだけではなく、日大生の心にも「明かり灯し」たい。』



■ 代表者:高橋 広大さん(生命応用化学専攻2年)

秋田県横手市の伝統的なお祭りの中に、かまくら祭りがあります。そのお祭りの中で、川沿いに2000~3000個のミニかまくらを作成し、作ったかまくらの中にろうそくで火を灯す「明かり灯し隊」という方々の手助けをしたいと考えています。昨今若者の人手不足によって、このミニかまくらを作成し明かりを灯す作業が大変になっているということから、このプロジェクトに参加することで、SDGsの中の地域活性化に少しでも貢献できると考えています。

#### 【プロジェクトの活動計画及び内容について】

①ミニかまくらの中に灯すろうそく作り、②ミニかまくらづくり及び明かり灯し隊、③ろうそくの片づけの三つの活動を予定しています。ミニかまくらづくりだけではなくろうそく作りから片づけまで一貫して携わることによって、最後まで携わったという達成感を味わうことができると考えています。



#### 學 日本大学工学部 後援会発足

## 勝り後援会からのご挨拶

日本大学工学部では、学生支援とご父母相互の親睦を目的とする「日本大学工学部父母会」が組織され、長年にわたり学部行事、奨学金制度などへの支援を頂いて参りました。しかし、大学を取り巻く環境が大きく変化するなか、学生や社会の多様なニーズに応えるためには、これまで以上に手厚い学生支援や奨学金制度の充実が求められていることに鑑み、父母会に代わり、本大学の他学部にならった「後援会」組織を発足し、平成31年度より皆様を会員として活動することに致しました。

後援会は学生がより充実した学生生活を送れるよう、事業を発展させ、学生の要望に応えていきます。後援会発足へのご理解をいただいたご父母の皆様と、これまで日本大学工学部を支えていただいた父母会の皆様に、この場をお借りしまして感謝の意を表します。



#### 日本大学工学部後援会発足

平成31年4月1日(月)、開講式当日に行われたご父母を対象とした説明会終了後に、日本大学工学部後援会設立総会が行われ、後援会が発足しました。これまで本学部の支援組織として日本大学工学部父母会が奨学金事業や行事関係への補助等を行っておりましたが、学生や社会の多様なニーズに応えるため、学生支援や奨学金制度を拡充すべく、後援会を発足。設立総会では後援会名誉会長の出村克宣工学部長が議長に就き、発足に至る経緯の説明をしました。その後、会則、事業計画、予算に関する案を説明し、役員選出を行いました。議事は全て満場一致の賛成を得て、滞りなく会は終了しました。



#### 令和元年度役員

名含会長	出村 克宣	<b>委</b> 貝	佐滕 裕之
会長	橋本 州榮	委員	小林 正志
副会長	大河原 由美子	委員	真船 守人
副会長	酒井 泰志	委員	野口 眞一
委員	小山 大央	委員	大岡 敦
委員	西園 敏弘	委員	今津 正人
委員	根本 修克	会計監査	塚本 章博
委員	池田 正則	会計監査	阿部 昭彦
委員	浅里 和茂	幹事	相場 順一
委員	田村 賢一	幹事	桑原 学

13